

グループワークの意見共有



学びを考える際に大切な要素は「健康」「希望を持つこと」「家庭円満」「一定の経済水準」であることをまずは認識すること。
そのためには「地域との関わり合い」がポイントになる。顔と名前が分かり合える地域になるとよい。学校は地域の多世代の人がボランティア等、色々な形で関わっていることで地域の関係性を形成する上で、重要な場所と捉えることが必要。

今後 10 年間の教育に関するスタンスとして「子どもに学ぶ自由を」「大人が子どもを受け入れる」「郷土愛を育む」という事を軸に話し合いを行った。
子どもに対しては外に出て行く、社会に向けた教育が大切。またイベント等を通して親に向けた教育とそれらを持続的な取組としていくために教育環境の整備も必要。



「つながりを作る・深める」という事が主題として浮かび上がった。それを支える要素として「地域」「多様性」「生きがいを見つけ」「生涯学習」の 4 つが挙げられた。
学校を地域コミュニティの場として活用、子どもから高齢者・障がいを持った人、外国人まで広く関わり合う時間の形成、体験学習を通じた生きがい発見、図書館の活用など。

体験を通じた主体性の形成が大切。自然環境や文化芸術を始め、長久手の豊かな資源を活用し、体験を立地に成長していくことが大切。それと併せて、そうした環境を周りの大人が受け入れられるよう私たち自身も発達していくことが重要。
どのグループも重要点として「コミュニティ」を育んでいくための仕組みを作っていくことを共通認識として挙げていくことが印象的だった。



今回のまとめ

最後に長久手市教育振興基本計画策定委員会にて委員長を務めている愛知県立大 学教育福祉学部「内田純一」教授に会を通してのご意見をいただきました。



「計画」とは多くの人にとって共有できるものであることが大切であり、今回、どのグループの意見も共有できる部分があった。その中の「つながり」については積極的に機会をつくるのが大切。「体験学習」も多く意見が出た。体験の環境を作るために多くの人のつながりが必要になり、先の意見と連動してくる。計画では、それらの方法を具体化していくことになるので、今後皆さんの貴重な意見を出し合い、計画を形にしていってほしい。

長久手市教育振興基本計画 第 1 回策定作業部会

News Letter Vol.1 2018.03



2018 年 3 月 16 日(金) 19:00～20:30

長久手市役所会議室棟 会議室 D・E・F 参加者 20 名

長久手市では、広く「教育」に関する計画である「長久手市教育振興基本計画」の策定のため、取組を進めています。

その一環として、多くの人に親しんでいただける計画にするため、市民の皆さんと一緒に計画の作成や検討を行う「第 1 回策定作業部会」を開催しました。

当日は、「10 年後の長久手の教育」をテーマに話し合うグループワークもを行い、参加者の皆さんが熱心に教育に対して思いを語り合う姿が印象的でした。

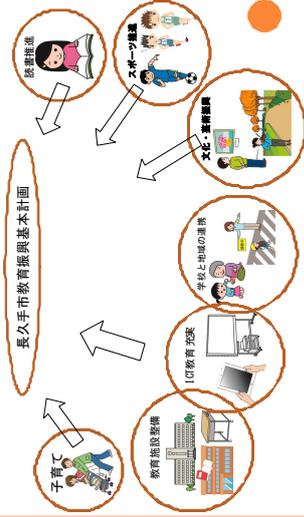
内容

- 1 長久手市教育振興基本計画とは？
- 2 10 年後の長久手の教育について考えるグループワーク

長久手市教育振興基本計画とは？

計画内容

今後10年間の広く「教育」に関する振興のための基本的計画



当日は始めに、事務局である教育総務課から「長久手市教育振興基本計画」とはどのような計画なのか、また、なぜ、いつまでに、どのように策定するのか、など計画の概要について説明しました。

この計画は、「学校や図書館といった教育施設の整備」や「学校と地域の皆様との協働活動」などに係る内容を始め、「子育て支援」に関する事「文化・芸術の振興」「スポーツ推進」といった生涯学習の推進など、今後 10 年間の広く「教育」に関する振興のための基本的計画となります。

グループワーク ～10年後の長久手の教育について考える～



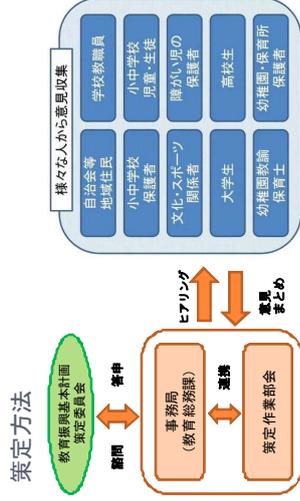
今回は第 1 回目の開催なので、参加者の皆さんの長久手の教育に対する「想い」を共有するためのグループワークを行いました。

「長久手市の皆さんが、子どもから大人までいつまでも夢や生きがいを持って成長し続けるために「やってみてみたいこと」「必要だと思うこと」は何ですか？」という問いについて、4つのグループに分かれて、意見交換し、グループとしての考えを模造紙にまとめました。

多くの皆さんが初対面でしたが、皆さんとても熱心に想いを話し合い、会場は大変にぎやかな雰囲気になりました。



広く市民の皆さんのご意見を反映し、親しまれる計画にするためには、市役所が単独で計画作りを進めるのではなく、色々な方にお話を聞き、市民の皆さんと一緒に計画を作り上げていく過程が重要です。作業部会では、事務局と参加者の皆さんとが丸となって、長久手市の教育がより豊かになる計画の策定を目指します！



平成30年度教育総務課事業実施スケジュール表

事業名	課題	目標	実施項目	進捗状況・結果	年間スケジュール												備考
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
教育振興基本計画の策定	教育振興に関する計画がない	平成31年3月末までに策定完了	<ul style="list-style-type: none"> ①作業部会の開催 ②策定委員会の開催 ③児童生徒アンケート及び保護者ヒアリングの実施 ④大学生、高校生等アンケートの実施 ⑤市民アンケートの実施 ⑥アンケート分析 ⑦地域ヒアリングの実施 ⑧パブリックコメントの実施 		5月：作業部会 6月：児童生徒アンケート・保護者ヒアリング 7月：大学生・高校生等アンケート 8月：市民アンケート 9月：作業部会 10月：作業部会(2回～3回) 11月：策定委員会 12月：策定委員会 1月：策定委員会 2月：パブリックコメント												
【長期計画】地域連携事業	現在、学校行事及び地域行事を協働して行うことが十分であった。	H31年度までに地域協働推進事業本部の立ち上げ(長小校区)	<ul style="list-style-type: none"> ①地域コーディネータを配置し、ボランティア活動の現状把握をする。 ②学校が必要とするボラと学校支援をしていただけのボラ団体の調整を行い地域協働本部を立ち上げる基礎をつくる。 														